

第 5 章 資料編



1 中学生・高校生アンケート結果概要

(1) 中学生アンケート

① 調査目的

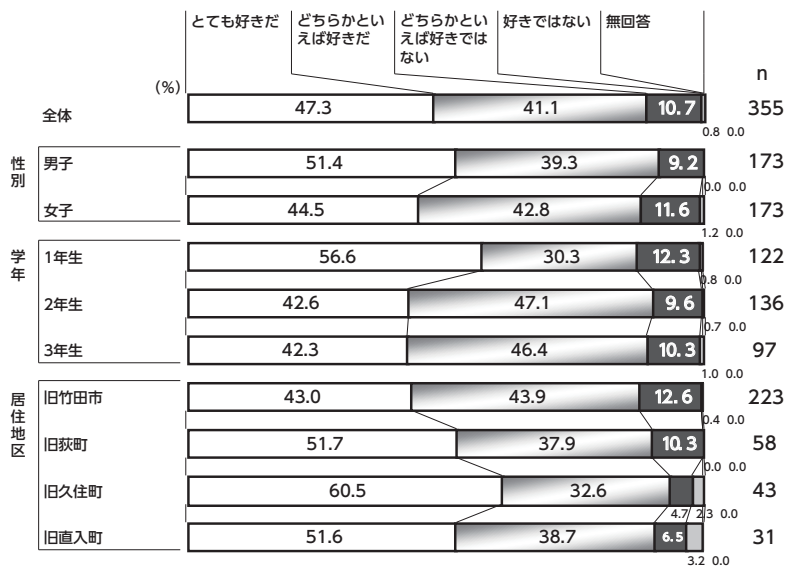
本調査は、竹田市総合計画（令和4年度～令和14年度）の策定にあたって、町が好きか、将来の定住意向をはじめ、今後特に力を入れてほしい施策、今後どんな村になってほしいかなど、中学生の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

② 調査概要

調査対象	市内6校の中学生（1・2・3年生）
抽出方法	全生徒
調査方法	GIGA スクール構想で整備されたタブレットを使用した、オンラインによるアンケート調査
調査期間	令和3年12月～令和4年1月
配布数	—
有効回収数	355票
有効回収率	—

③ 竹田市が好きか

- “好きだ” が88.4%、
“好きではない” が11.5%。



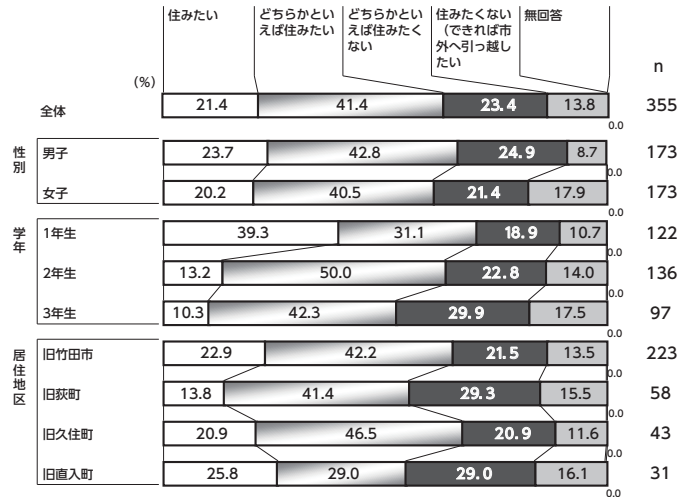
※ 「とても好きだ」（47.3%）と「どちらかといえば好きだ」（41.1%）をあわせた“好きだ”という人が88.4%と9割弱となっている一方、「どちらかといえば好きではない」（10.7%）と「好きではない」（0.8%）をあわせた“好きではない”という人は11.5%と1割強にとどまっており、中学生の市への愛着度はかなり高いといえます。



④ 今後の定住意向

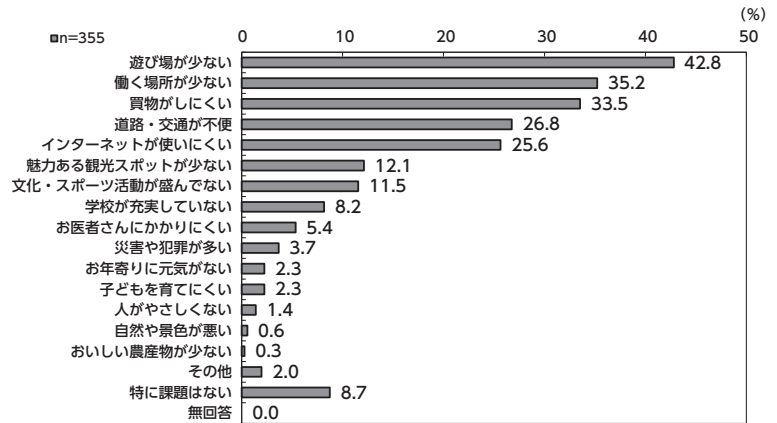
● “住みたい” が62.8%、
“住みたくない” が37.2%。

※ 「どちらかといえば住みたい」(41.4%)と「住みたい」(21.4%)をあわせた“住みたい”という人は62.8%となっています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(23.4%)及び「住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)」(13.8%)と答えた“住みたくない”という人の合計は37.2%でした。



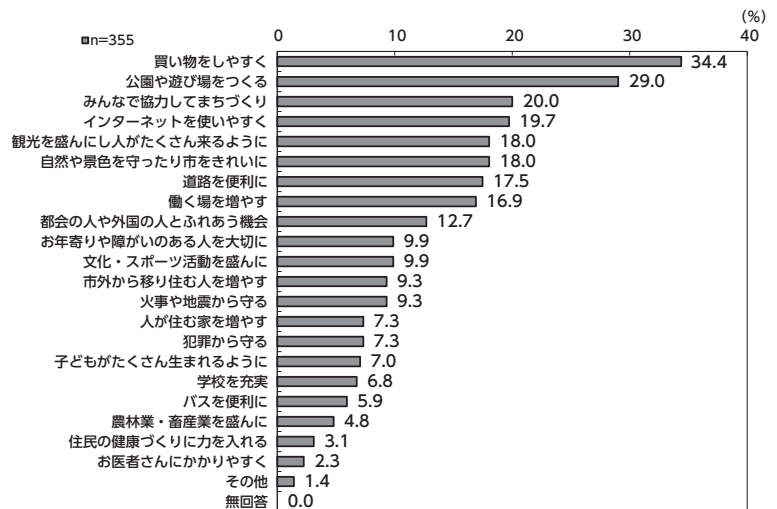
⑤ 竹田市の課題

● 「遊び場が少ない」が第1位。
次いで「働く場所が少ない」、
「買物がしにくい」の順。



⑥ 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと

● 「買い物をしやすく」が第1位。
次いで「公園や遊び場をつくる」、
「みんなで協力してまちづくり」の順。



(2) 高校生アンケート

① 調査目的

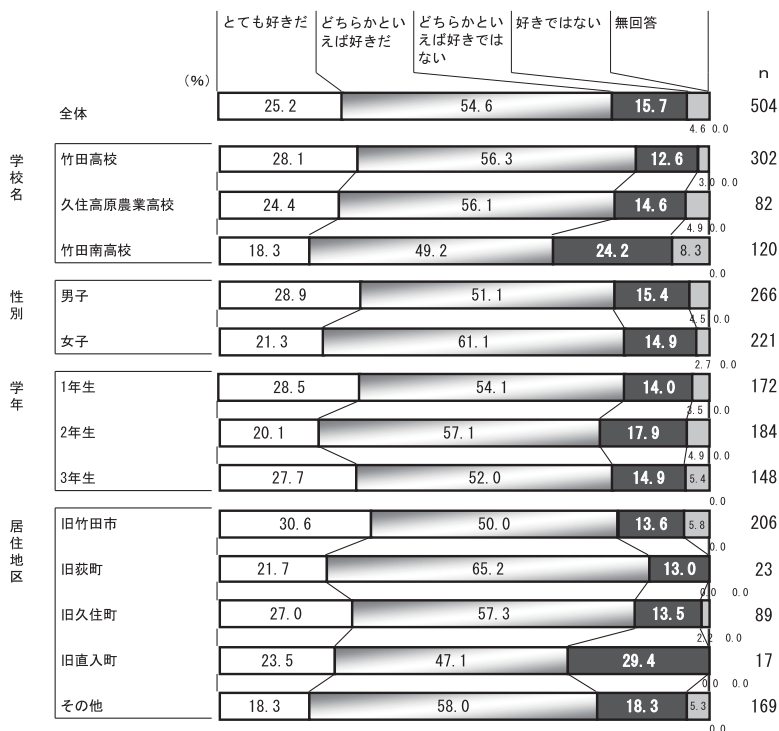
本調査は、竹田市総合計画（令和4年度～令和14年度）の策定にあたって、町が好きか、将来の定住意向をはじめ、今後特に力を入れてほしい施策、今後どんな村になってほしいかなど、高校生の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

② 調査概要

調査対象	市内3校の高校生（1・2・3年生）
抽出方法	全生徒
調査方法	GIGA スクール構想で整備されたタブレットを使用した、オンラインによるアンケート調査
調査期間	令和3年12月～令和4年1月
配布数	—
有効回収数	504票
有効回収率	—

③ 竹田市が好きか

- “好きだ” が79.8%、
“好きではない” が20.3%。



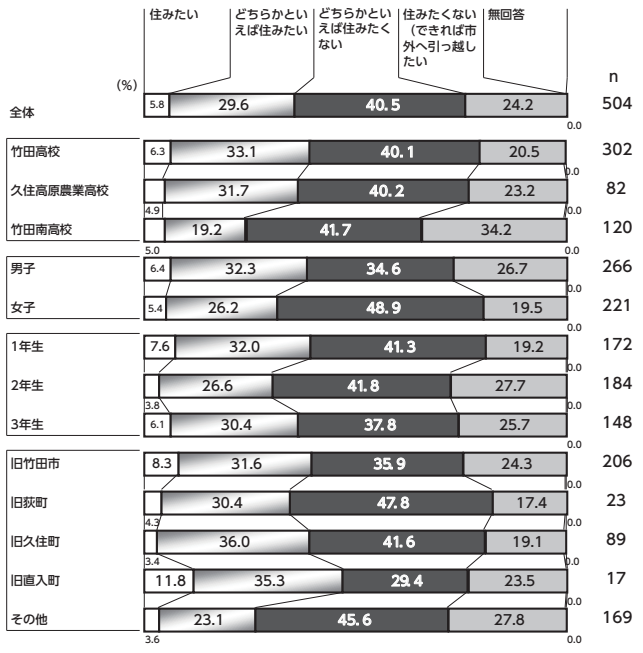
※ 「どちらかといえば好きだ」（54.6%）と「とても好きだ」（25.2%）をあわせた“好きだ”という人が79.8%と8割弱となっている一方、「どちらかといえば好きではない」（15.7%）と「好きではない」（4.6%）をあわせた“好きではない”という人は20.3%と約2割となっており、高校生の市への愛着度はかなり高いといえます。



④ 今後の定住意向

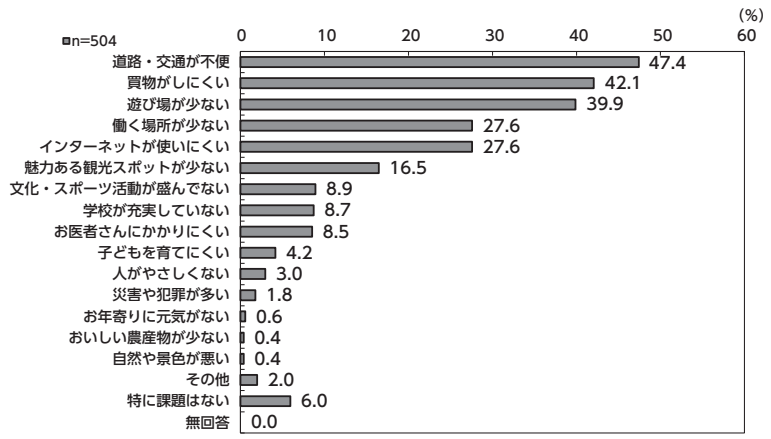
● “住みたくない” が64.7%、
“住みたい” が35.4%。

※ 「どちらかといえば住みたくない」(40.5%) 及び「住みたくない(できれば市外へ引っ越したい)」(24.2%) と答えた “住みたくない” という人の合計は64.7%となっています。一方、「どちらかといえば住みたい」(29.6%) と「住みたい」(5.8%) をあわせた “住みたい” という人は35.4%でした。



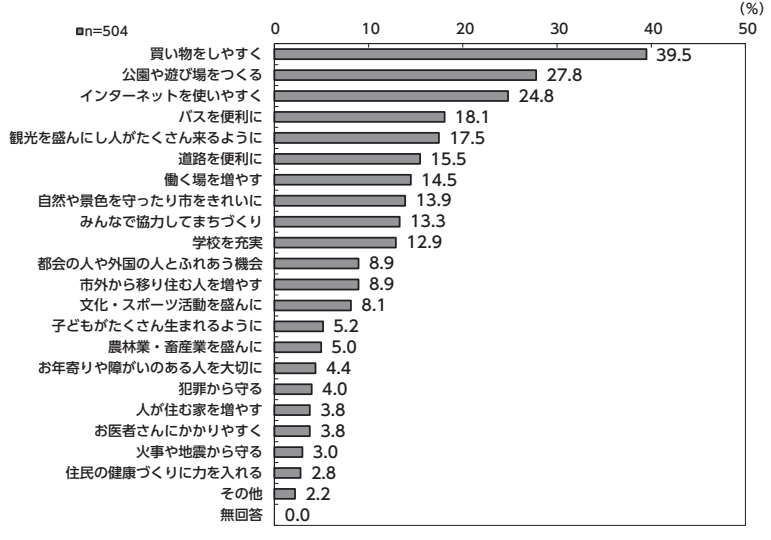
⑤ 竹田市の課題

● 「道路・交通が不便」が第1位。
次いで「買物がしにくい」、
「遊び場が少ない」の順。



⑥ 今後まちづくりで特に力を入れてほしいこと

● 「買い物をしやすく」が第1位。
次いで「公園や遊び場をつくる」、
「インターネットを使いやすく」の順。



2 若手職員研修結果（自治体 DX の政策提案）

第2次竹田市総合計画の策定に向け、市役所の若手職員を対象に『Society5.0/自治体DX』をテーマとした全3回の研修（ワークショップ）を行いました。この研修を通じて将来を担う若手職員が、まちづくりの課題等を学び、職員としてのスキルアップを図ることを目的としました。

- ・ 対象者：採用3年以内の職員 28人
- ・ テーマ：『Society5.0/自治体DX』

第1回 研修会	令和4年3月22日（火）10：00～ 場所：本庁舎3階会議室 内容：オリエンテーション・ワーキング 参加者：23名	ビッグデータの初歩にふれる
第2回 研修会	令和4年5月24日（火）13：30～ 場所：本庁舎3階会議室 内容：前回の宿題に関する各自1分間スピーチ及び次回（最終回）の発表を行うためのグループ分け 参加者：16名	IoT、AI、ビッグデータ等の実用技術にふれる 本市で取り組むべき事業を創出する
第3回 研修会	令和4年6月29日（水） 内容：参加者が5グループに分かれ、市長をはじめとする幹部職員に政策のプレゼンテーション	本市で取り組むべき事業を創出する発表する



講師の話を熱心に聞く若手職員



各班の発表



市長講話



課長を前にプレゼンを行う若手職員



3 第2次竹田市総合計画の策定経過

年月日	議会	行政	市民	内容	備考
R3.6.4	○			令和3年竹田市議会 第2回定例会	土居市長が所信表明で総合計画を策定する旨言及
R3.7.28	○			令和3年竹田市議会 第4回臨時会	総合計画策定に係る予算可決(債務負担行為設定)
R3.8.27		○		第1回竹田市総合計画策定プロジェクト会議	策定に向けた庁内の意思統一(副市長を委員長に各課長で構成)
R3.9.8	○			令和3年竹田市議会 第3回定例会	一般質問の中で策定の作業状況を説明
R3.9.28		○		公募型プロポーザルによるコンサル決定【株ぎょうせい】	R3.8.26公告、契約日：R3.10.1、契約期間：R3.10.2～R5.3.20
R3.10.1			○	広報たけた10月号【第2次竹田市総合計画策定スタート】	策定の目的、イメージ図、体制図、主なスケジュールについて周知
R3.10.7		○		第1回竹田市総合計画策定ワーキングチーム	49名(部会：総務財政、保健福祉、生活環境、産業建設、教育)
R3.11.16		○		コンサルタント【株ぎょうせい】市内現地視察	市内一円を満遍なく回り、多くの公共施設等も確認
R3.11.16		○		第2回竹田市総合計画策定ワーキングチーム	策定手法概要、SWOT分析手法概要、市民アンケート、etc.
R3.11.17		○		竹田市長トップインタビュー実施	現状と課題、市政運営の理念や考え方、今後4年間のToDo、その他
R3.12.8			○	まちづくり市民アンケート調査実施【紙媒体、広報たけた】	対象：18歳以上の市民2,000人、回収率：41%(813件)、2/1メ
R3.12.13			○	まちづくり高校生アンケート調査実施【Web, GIGAスクール】	対象：市内3校の高校1年～3年生、回答数：504件、1/21メ

第5章 資料編

3 第2次竹田市総合計画の策定経過

年月日	議会	行政	市民	内容	備考
R3.12.13			○	まちづくり中学生アンケート調査実施【Web, GIGAスクール】	対象：市内6校の中学1年～3年生、回答数：355件、1/16メ
R3.12.27			○	竹田市総合計画審議会の市民委員募集【HP, 広報たけた】	対象：18歳以上の市民、人数：若干名、募集期間：R4.1.4～1.31
R4.1.17		○		第1次竹田市総合計画の事業評価に係る各課ヒアリング	対象：27部署、調査項目：257項目、実施期間：R4.1.17～1.19
R4.2.1	○	○	○	広報たけた2月号	まちづくり市民アンケート調査【速報】
R4.3.2	○			令和4年竹田市議会 第1回定例会	全員協議会後の場で進捗状況について経過報告
R4.3.22		○		第1回若手職員研修会	『Society5.0/自治体DX』ビッグデータ分析としてブログ解析
R4.3.22			○	第1回竹田市総合計画審議会	委嘱状交付、第1次の評価、市民アンケート、国調人口等 etc.
R4.4.1	○	○	○	広報たけた4月号	第1回審議会、まちづくりアンケート調査結果について
R4.5.23	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	城原小体育館【宮城・城原】
R4.5.24		○		第2回若手職員研修会	AI、IoT、ビッグデータ分析に関する他の自治体における取組み状況
R4.5.24	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	祖峰小体育館【入田・姫岳・宮砥】
R4.5.25	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	荻支所多目的ホール【荻】
R4.5.26	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	竹田市総合社会福祉センター【竹田・岡本・明治・豊岡】
R4.5.27		○		第3回竹田市総合計画策定ワーキングチーム	アンケート結果、第1次達成度調査、分野別ワークショップ



年月日	議会	行政	市民	内容	備考
R4.5.27		○		第2回竹田市総合計画策定プロジェクト会議	市民ワークショップ、次期計画のレイアウト、第2回審議会について
R4.5.27	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	直入支所大会議室【直入】
R4.5.28	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	久住公民館機能回復訓練室【久住】
R4.5.29	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	竹田市総合社会福祉センター【※市内全域】
R4.5.29	○	○	○	たけたの未来を考える集い（市民ワークショップ）	グランツたけたキナーレ【玉来・松本・菅生】
R4.6.9		○	○	第2回竹田市総合計画審議会	市民WS【概要】、分野別WS、次期レイアウト、総合管理計画 etc.
R4.6.24	○			令和4年竹田市議会 第2回定例会	全員協議会後の場で進捗状況について経過報告
R4.6.29		○		第3回若手職員研修会（最終回）	5つのグループが管理職全員に対して発表
R4.7.1	○	○	○	広報たけた7月号	ワークショップの概要、まちづくり市民アンケート調査に対する回答
R4.7.13		○		第4回竹田市総合計画策定ワーキングチーム	市民ワークショップ、前期基本計画シートの作成説明等
R4.8.22		○		前期基本計画のヒアリング実施（R4.8.22～8.24）	前期基本計画（令和5～9年度）策定のため各課にヒアリング
R4.10.21	○			竹田市議会 総務委員会勉強会	柳川市視察に向けて
R4.12.21			○	竹田市自治会連合会研修会	竹田市総合計画の経過について【アンケート、ワークショップ etc.】
R5.1.27		○		竹田市総合計画策定プロジェクト会議	経過報告、第2次総合計画説明【基本構想】【前期基本計画】（素案）

年月日	議会	行政	市民	内容	備考
R5.1.27		○		竹田市総合計画庁議	経過報告、第2次総合計画説明【基本構想】【前期基本計画】(素案)
R5.2.3		○	○	第3回竹田市総合計画審議会	中期財政収支、経過報告、計画(素案)の説明
R5.2.7~	○	○	○	パブリックコメントの実施	期間：2/7(火)~2/20(月)、提出意見：15人、38件
R5.2.10		○	○	第3回農政審議会	総合計画(素案)について
R5.2.24	○			令和5年竹田市議会 第1回定例会	全員協議会で経過報告、計画(素案)の説明、パブコメの意見報告
R5.2.27		○		竹田市総合計画策定プロジェクト会議	第3回審議会、パブコメの提出意見対応について、素案の修正
R5.2.27		○		竹田市総合計画庁議	第3回審議会、パブコメの提出意見対応について、素案の修正
R5.3.2		○	○	第4回竹田市総合計画審議会	パブコメの実施結果について、素案の修正について

たけたの未来を考える集い(市民ワークショップ)
~10年後の竹田市をみんなで考えよう~

『第2次竹田市総合計画』の策定にあたり、市民の皆さまにご参加いただき、本市の現状や将来などについて、グループごとに意見交換を行いながら、目指すべき将来像をみんなで考えることを目的に開催します。ぜひご参加ください。

日 程	対象地域	会 場
5月23日(金) 午後7時~	宮城・城原	城原小学校体育館
5月24日(土) 午後7時~	入田・黒屋・宮袋	福澤小学校体育館
5月25日(日) 午後7時~	萩	民文所多目的ホール
5月26日(月) 午後7時~	竹田・網本・明治・豊岡	竹田市総合社会福祉センター
5月27日(火) 午後7時~	鹿入	鹿入支庁大会議室
5月28日(水) 午後7時~	久住	久住公民館複合施設会議室
5月29日(木) 午前10時~	市内全域	本庁3階会議室
5月29日(木) 午後7時~	玉来・松本・豊生	グランツたけた

※5月29日(木)のみ午前10時から行います。夜の参加が難しい方はこちらにご参加ください。

内 容 竹田市を良くしていくためのアイデア等についてグループで話し合います。

対 象 市内在住、在勤、在学の方

参加費 無料

問合せ 総合政策課 政策推進係
TEL: 0974-63-4801
FAX: 0974-63-0995
mail: seisaku@city.taketa.lg.jp

まちづくりには、あなたの声が必要です

ワークショップは下の写真のようにグループで話し合います

松本地区のワークショップの様子

明治地区のコミュニティひろばJimageの様子



高校生のタブレットでの回答の様子



庁内ワーキングチーム会議の様子



4 竹田市総合計画審議会条例

○竹田市総合計画審議会条例

平成17年4月1日

条例第29号

改正 令和4年3月3日条例第1号

(設置)

第1条 本市の総合計画に関する必要な事項を審議するため、竹田市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、竹田市総合計画に関し必要な事項について審議し、その結果を市長に答申するものとする。

(組織)

第3条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 市議会の議員
- (3) 公共的団体等の代表者
- (4) その他必要と認められる者

(任期)

第4条 委員の任期は、審議会における審議が終了した時までとする。ただし、任期中であっても、その本来の職を離れたときは、委員の職を失うものとする。

2 市長は、委員に欠員が生じたときは、前条に規定する者のうちから委員を選任することができる。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長をそれぞれ1人置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が必要に応じて招集し、その議長を務める。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 審議会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(幹事)

第7条 審議会に幹事若干名を置き、市の職員のうちから市長が任命する。

2 幹事は、会長の命を受け、審議会の審議を助ける。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、総合政策課において処理する。

(令4条例1・一部改正)

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長がこれを定める。

附 則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (令和4年条例第1号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

5 第2次竹田市総合計画審議会委員

竹田市総合計画審議会委員名簿

(敬称略 順不同)

	職名	区分	氏名	所属団体等
1		産業	佐藤 春三	竹田商工会議所 会頭
2		産業	首藤 文彦	九州アルプス商工会 会長
3		産業	森脇 久代	九州アルプス商工会 女性部長 (前竹田市女性団体連絡協議会 会長)
4		産業	麻生 賢志	はなぐり会 会長
5		産業	中山 勝宏	大野竹田バス株式会社 代表取締役社長
6		官	田崎真佐恵	大分県豊肥振興局 地域創生部長
7	会長	学識	姫野 由香	大分大学 理工学部 准教授
8		労働	工藤 大行	連合大分南部地域協議会 副議長 (竹田連絡会代表)
9		観光	工藤 厚憲	NPO 法人 竹田市観光ツーリズム協会 会長
10		福祉	木部真里子	社会福祉法人 竹田市社会福祉協議会 会長
11		健康	安永 正剛	一般社団法人 竹田市医師会 会長
12		教育	佐藤 恵	竹田市教育委員会 委員 (竹田市男女共同参画推進委員会 会長)
13		教育	高橋 英明	竹田市 PTA 連合会 代表
14		文化	古森 佳代	一般財団法人 竹田市文化振興財団 理事
15		環境	工藤 桂太	MMS21 会長
16	副会長	協働	秋田 勲	竹田市自治会連合会 会長
17		協働	奥 結香	NPO 法人 Teto Company 理事長 (元地域おこし協力隊)
18		公募	佐藤 大樹	公募委員





6 諮問・答申

(1) 諮問

竹企情第0322008号
令和4年3月22日

竹田市総合計画審議会 会長 様

竹田市長 土居 昌 弘

第2次竹田市総合計画について（諮問）

本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、竹田市総合計画審議会条例（平成17年条例第29号）第2条の規定により、貴審議会に諮問します。



竹田市総合計画審議会委員の皆さん

(2) 答申

令和5年3月2日

竹田市長 土居昌弘 様

竹田市総合計画審議会
会長 姫野由香

第2次竹田市総合計画について（答申）

令和4年3月22日付け竹企情第0322008号で諮問のあった上記のことについて、審議の結果、別冊（案）のとおりとすることを適当と認めここに答申します。

なお、本計画の推進に当たっては、特に次の点に配慮されるよう要望します。

記

- 1 本計画は令和14年度を目標とした長期計画であり、今後竹田市が歩いていく上での羅針盤となるため、社会情勢や市民ニーズの変化を見極めながら、分野横断的な取り組みにより実効性の確保に努めること。
- 2 計画内容について、10年後の未来を担う中学生及び高校生を含む市民へのわかりやすい周知に努めること。
- 3 市民自らが計画の担い手として積極的に市政に関与できるよう、常に情報を市民と行政で共有できる仕組み作りに配慮すること。



第2次竹田市総合計画

令和5年3月

作成・編集 竹田市総合政策課

〒878-8555 大分県竹田市大字会々1650番地
TEL 0974-63-4801 (内線221)
FAX 0974-63-0995

URL: <https://www.city.taketa.oita.jp/soshiki/kikakujuhoka/index.html>

TAKETA VISION 2032

第2次竹田市総合計画



ひとが輝き
未来へつなぐ
いのち溢れるまち

TAKETA
『竹田』



大分県竹田市